

円滑な意思の疎通が ツーリングの楽しさを倍増させる

俳優、ライダー

岩城滉一

LINKS社長

澤田大祐



「大所帯のチームで一度に走ると すぐにバラバラになってしまうけど 会話できて位置まで分かるんだね」——岩城

大所帯のツーリングに活躍

澤田 ●以前バイクに関するお話を伺ったとき、毎年たくさん仲間たちと伊豆へツーリングに行くとおっしゃってましたね。

岩城 ●そうそう。北海道へのロングツーリングも恒例になっているんですが、寒川神社へも毎年お参りに行っているんです。交通安全を祈願するためにね。仲間たちと走るときにインカムは非常に便利で、僕らにしてみればドライブレコーダーも大事だけど、インカムが大事ですね。

澤田 ●何度かお使いいただいているとは思いますが、特に人数が多くなるツーリングであればあるほど、インカムの便利さを実感していただけるのではないのでしょうか。

岩城 ●いやいや、何度もっていうより、僕のヘルメットにはインカムを付けっぱなしにしてあるから（笑）。ただね、ちょっと飛ばしちゃうとノイズが多くなって、全く聞こえなくなっちゃうんですね。

澤田 ●今回、ミッドランドのインカムに新しいノイズキャンセラー機能が「MWe」が搭載されたので、ぜひ岩城さんにお試しいただきたくて今日は持ってまいりました。

岩城 ●バイク用のインカムは下道を走っているときはいいんだけど、高速道路を走ると風切り音で相手の声が聞こえなくなってしまうんです。インカムのノイズキャンセラー機能は

僕が四輪のフォーミュラ3000選手権を走っている頃から付いてましたけど、今時のはずいぶん進化しているんでしょうね。新しいノイズキャンセラー機能がどれだけ効果あるのか楽しみだな。

澤田 ●ミッドランド・BTEクレストプロを装着した、テスト用のヘッドフォンを装着してきました。ちょっと装着していただけますか？

岩城 ●……ああ、聞こえはじめからノイズキャンセラー効果が上がっているのが分かりますね。

澤田 ●さすがですね！ではこれから小型の扇風機をバイクに当てて、走行中の状態を再現してみます。時速100kmの走行風ほど強くはありませんが……いかがですか？

岩城 ●うんうん、だいぶいいね。

澤田 ●今回のノイズキャンセラー機能はイギリスの音響技術研究会と共同開発したもので、2種類のノイズキャンセレーション回路を導入しています。風切り音などのノイズを検知するとおよそ2秒後くらいから機能ははじめまして、マイクから入る雑音の約80%、最大で18dBものノイズをカットします。

岩城 ●これはいいね。実際にツーリングで使うのが楽しみになります。

澤田 ●ツーリングがより快適になると思います。MWeはソフトウェアを無償でバージョンアップしていただくことで、過去に購入いただいたBTプロ全てのシリーズでご利用い

ただけるようになっていきます。

大幅な進化を実際に体感

岩城 ●僕が最近インカムを使うようになったのは2年前かな、テレビ番組「メレンゲの気持ち」でうちの女房とインディアンに乗って長瀬へ行ったときに使ってたからなんです。

澤田 ●そのときにご縁がありまして、ミッドランドのインカムをお使いいただきました。お気に召してください何よりです。

岩城 ●10年くらい前かな、バイク用インカムが出てきたばかりの頃に使ったことがあったんですけど、当時のものは、まだまだアテにならないかなってんですよ。

澤田 ●当時のブルトウスインカムは通信距離が10mくらいでしたし、ペアリングの方法も分かりにくいものが多かったですね。また、一度切れてしまうともう一度接続するにも手間がかかって……。

岩城 ●そうですね。それであまりいい印象を持ってなかったんですけども2年前にテレビ番組で使ったインカムは使いやすいかつたし、接続が切れることもなかったし、声もよく聞こえたんですよ。それからですね、ツーリングにインカムが大事だっと思ってようになったのは。

澤田 ●ミッドランドのインカムは、同時通話ができるグループ通話でも700m、通常の無線のようにひとりで通話するインターカムモード

Daisuke Sawada × Koichi Iwaki



Daisuke Sawada

澤田大祐。1967年生まれ、51歳。京都在住。通信業界で経験を積み独立。株式会社LINKSを立ち上げ、通信機器メーカー「MIDLAND」の日本総代理店を担う。ほかにフランス製ヘルメット「SHARK」日本総輸入元でもあり、日本のバイクライフの充実に注力している。

Koichi Iwaki

岩城滉一。1951年生まれ、67歳。東京出身。24歳の頃に結成したバイクチーム「クルス」が縁となり俳優デビュー。自身のライフワークであるモータースポーツでは、現在も主宰する「51ガレージチームイワキ」において、全日本ロードレースST600iに参戦中。

●都内某所にある秘密のガレージに大切に保管されている。カスタム全開のインディアンと岩城さん。横に立つ澤田さんの後ろには、岩城さんが長年使用してきたヘルメットを大切に保管しているキャビネット……。ライダーなら誰もが憧れてしまうような、まさに「隠れ家」だ

少年の頃からバイクに親しみ、二輪・四輪問わずレース活動をしてきた岩城滉一さんは「仕事よりもバイクが優先」とバイクライフを楽しんでいる。そんな岩城さんが近頃、「ツーリングに大事なもの」と感じているのがインカムだ。

まとめ●山下 剛 photo●佐藤竜太

騒然としたレース中でもクリアな会話を提供 “鈴鹿8耐”を戦った ノイズキラーインカム



MIDLAND BT NEXT PRO Hi-fi

価格●3万2184円（シングルホワイトモデルも同価格）、
6万2424円（ツイン）
最大通信距離●約1.6km 最大通話可能人数●8人
●LINKS ☎075-708-2362 info@linksofjapan.jp
http://www.midlandradio.jp

今年も熱いドラマに彩られた“コカ・コーラ”鈴鹿8時間耐久ロードレース。けたたましいエキゾーストノートが響きわたるコース横での連絡徹底を図るため、ミッドランドのインカムを活用して戦うチームがいた。

まとめ●小川恭範 photo●岡 拓 / LINKS



●4人が同時通話できるインカムだから、申し送り時の勘違いも防止（写真はライダー兼サインボード係の佐藤龍彦さん）



●レース中、走行するライダーにチームの意思を伝える唯一の方法がサインボード。聞き間違えによるミスは許されない



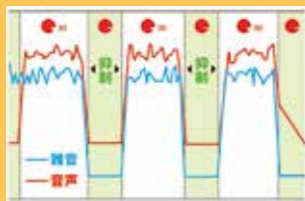
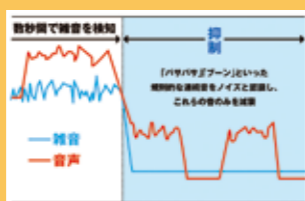
●「インカムの導入で、じっくり戦略を練る時間ができたのは本当に大きかったですね」と西村監督（写真手前）。なお、このヘッドセットは非売品だ

「突然の降雨やセーフティカー導入で、いつピットインさせるか、タイヤ交換と給油はどうすればいいのか、判断の難しい状況が続きました。ただ、出した結論をサインボードに反映させる作業は、インカムのおかげで非常に楽でした」とは、1970年代に結成されたヤマハ社内チームで、第1回の鈴鹿8耐から参戦している名門「警団レーシングファミリー」の現監督、西村一之さん。昨年まではピットレインを往復して直接指示していたが、その労力が減り、天候急変を知らせるモニター画像を吟味できる時間も増えたため、よりの確な判断が下せたという。「監督から次々に連絡が来るのですが、『えっ、何ですか?』と聞き直したことは1回もなかったですね」とはサインボード係を担当した松崎翔太さん。ちょうど今年、ミッドランドのインカムはノイズキャンセリング機能をバージョンアップ（後述）したため、効果は絶大だったようだ。チームは34位完走。ノイズの少ないインカムによる円滑な意思疎通が転倒を防いだと西村監督は笑った。

会話を邪魔するノイズを低減!



ミッドランドと英国の音響技術研究会社との共同開発により完成した最新のノイズキャンセリング機能 [MWe(ミッドランド・ウインド・エクスペリエンス)]。最新モデルに搭載されているこのファームウェアは、無料ダウンロードすることで、BTプロシリーズすべてに適用させることができる。BTプロシリーズのユーザーなら絶対にアップデートしておこう。



【ノイズキラー】
●風切り音やエンジン音など、連続する“バックグラウンドノイズ”を認識して、その音の成分を最大10分の1にまで削減してくれる

【ノイズゲート】
●会話音声のない無音時にはフィルターの役割を司るゲート機能が雑音をカット。マイクから入る音の80%を削減することに成功した

距離・人数無制限で話せる

独創の「BT TALK」

ミッドランド専用のインカムアプリ「BT TALK」は、対応するインカム、BTTボタンとの併用で世界初の距離&人数無制限の通話を実現（特許申請中）。スマホがインターネットにつながる限り、相手が地球上のどこにいても話せるのだ。



●BT TALKは画面上のボタン、もしくは別売りのBTTボタンを押しながら話すトランシーバー式。電話式のLINE通話よりデータ量を抑えているので状況変化に強い



「走行中の風切り音というのは本当にジャマな存在だよ」——岩城

澤田●「BT TALK」は通話だけでなく相手の位置を地図で見るところもできますので、より便利に使っていただけると思います。
岩城●そうですね。だから仲間とはぐれてもどこにいるのかがすぐに分かるし、距離も関係ないから道を間違えた仲間にも「今の交差点は右じゃない、左だ!」ってすぐに伝えられるからラクですよ。
澤田●だからこそ、ドライブレコーダーよりも大事なですね。
岩城●そう。もう今はインカムを使



「引き続きいい製品を提供できるように、取り組んで参ります」——澤田

うことに慣れてしまったけど、もしもなくなってしまうたらものすごく不便さを感じるでしょうね。
澤田●全くですね。
岩城●もっと性能が上がればさらに便利で快適になると思いますけど、これだけの性能をこの価格で買えることが素晴らしいと思いますね。
澤田●ありがとうございます。これからもいっそうバイクツーリングを快適に、楽しいものにできる製品を提供していきます。
岩城●楽しみです、期待してます。

なら1000m程度まで通信できずから、例えば高速道路で仲間とはぐれてしまってもお互いの位置を簡単に確認できます。また、スマートフォンに専用アプリ「BT TALK」をインストールしていただき、それを使うことで携帯電話の電波が届く場所ならば距離も人数も無制限で通話を楽しんでいただけます。
岩城●20台以上でツーリングへ行く

と、ガソリンを入れるだけでも大変ですからね。タンクを満タンにしても100kmしか走れない人もいます。200〜250km走れる人もいます。ガソリンスタンドに寄ればトイレにも行くし、食事もしなくちゃならない。それをやると1時間くらいかかってしまうんです。でもこのインカムを使うようになってからそういうことはなくなりましたね。